

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社ヒューマンリンク キッズアドベンチャー【児童発達支援】		
○保護者評価実施期間	2027年 1月 14日		～ 2027年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2027年 1月 14日		～ 2027年1月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2027年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者・児童が安心して楽しく通所をしてくださっている。	・小集団療育と個別療育を実施しており、小集団療育の利用児さんも個別療育も併用して利用していただいております。その子に合わせた支援を取り入れやすい。	・今後も家庭や園などの関係機関と連携に努めながら、子ども一人一人に合わせた充実した支援の提供に取り組む。 ・保護者の方との連携を密に行い、子ども、保護者の困り感の解消に繋がるように配慮を行う。 ・活動内容を継続で取り組む物もあれば、行事ごとや、子どもが楽しめる活動というものも常に模索し提供していく。
2	・活動内容が固定化されないように工夫をしている。	・上記と同様の児童に合わせた活動を提供しやすい環境である。小集団の活動でも、活動に関しては毎回同じものではなく、その子それぞれの課題であったり、状況に合わせた物を提供できるように話し合いを行って実施している。	・スタッフ全員が共通して子の課題、状況を把握できるように、話し合いだけでなく、ツールなども使用しながら共通の認識を持てるように配慮する。
3	・保護者の方が子育て等に関する相談事がしやすい環境にある。	・個別療育時に保護者送迎の方には、都度活動の様子をお伝えしながら、直接情報の共有を行うことができる。また、記録をハグシステムというもので閲覧できる物を使用していたり、lineを事業所で導入しているので、何かお困りごとがあった際には、連絡を頂けやすい環境である。	・今後も、情報の共有にしっかりと努める。 ・lineなどでも、情報の共有（事業所での様子や本児の困り感等）もしっかりと共有できるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族に対してのペアレントトレーニングなどの実施ができていない。	・他から案内されたものなどでの研修の案内などは保護者の方へも必要性のあるお子さんに関しての案内は行ってきたが、事業所で保護者の方参加型の研修などは行えておらず。	・ペアレントトレーニングなどの家族支援プログラムの実施。 ・研修の案内に関しては必要性のある児童だけでなく、全保護者へ案内を実施する形で情報の共有に努める。
2	・非常時の対応に関して、保護者の方への周知が足りない。	・避難などの訓練の実施や、非常時のマニュアルに関する説明が足りず、周知できていない現状。	・インスタグラムで情報の共有に努めていたが、情報の周知の方法を模索し、実施していく。
3	・地域の幼稚園・保育園の児童との交流がない。	・活動時間等の要因もあり、現在取り組みを検討していなかった。	・地域の児童との交流の機会を作れるように検討を行っている。 ・他事業所の取り組み等も参考にできるように、関係している機関とも情報共有との連携に努め、当事業所でも地域児童との交流の検討を行う。